

# 熊本矯正歯科学研究会

# NEWS LETTER

2013年 第2号(秋季)

事務局:おにき矯正歯科クリニック内  
〒861-4172 熊本市御幸笛田 1-9-38  
TEL 096-334-8211 FAX 096-334-8210  
E-Mail yasu1015@hyper.ocn.ne.jp



熊本矯正歯科学研究会講演会 (H25. 5. 11 アークホテル熊本)

## ご挨拶

熊本矯正歯科学研究会 会長 伊東隆三



熊本矯正歯科学研究会会長に就任し早いもので4年が経過しようとしています。木村、山部両副会長、常任理事の鬼木、河野、太田、森先生の役員の方々には毎月の役員会にご出席いただき、会務の遂行にご尽力いただきましたことを心から感謝申し上げます。また理事、評議員、会員の先生方のご協力により熊本矯正歯科学研究会がこれまで以上に発展してきましたことを改めて御礼申し上げます。これまでの熊本矯正歯科学研究会の活動につきましては、NEWS LETTERを読んでいただけますとお解りいただけると思います。

会長就任時に申しあげました①熊本矯正歯科学研究会会則改正や会長および監事選出規定の制定、②本研究会の組織の再構成と活性化、③GPの先生方との連携強化、④不正咬合の予防や矯正歯科治療の必要性に対する啓発と講演活動、⑤ホームページの開設、⑥ニュースレターの発刊などについては皆様のご支援のお陰でほぼ達成できたものと考えておりますが、今後さらに進化させていかねばなりません。しかしながら、顎の狭小化が指摘されている中、幼稚園(保育園)児や小・中学校生徒を対象に矯正歯科学的な歯科検診の必要性については精力的に啓発活動を進めてまいりましたが実現するまでには至っておりません。虫歯は会員の先生方もお気づきのように、先生方、保護者、教育・行政関係者の方々の努力で激減しております。しかし不正咬合者の割合は激増しており、不正咬合の予防や矯正治療の必要性を啓発していく上でも、学校検診で学校歯科医とともに矯正歯科医が矯正歯科学的検診を連携して行っていく必要があります。平成26年度から実施の可能性が見えてきましたが、この実施に対しましては会員の先生方の絶大なる御協力が必要となります。よろしく御祈り申し上げます。

来る11月16日の臨時総会で会長選挙が行われ新会長が選出されます。来年1月からは新執行部のもとで本研究会が運営されることとなります。会員の先生方におかれましては新会長の下、熊本矯正歯科学研究会がさらに発展するためにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会員の先生方の今後のますますのご健勝とご活躍をお祈りします。

## 今年度前期の主な活動

### ○ 平成 25 年度前期 常任役員会・理事会から

毎月一回、常任理事による役員会、3 か月毎に理事会を行ない、熊本矯正研究会の行事（日程や講演会講師）や会計状況を検討しています。研究会がより発展し、会員の先生方に役立つような会になるように伊東会長を中心に協議しています。

今年度の常任役員会では、矯正歯科の学校歯科検診の導入や次期会長選挙の選挙規約作成などを主な議題として話し合ってきました。矯正歯科の学校歯科検診では、校医の先生の協力などにより玉東町をモデルとして実現可能なところまでできております。一方、今年度末で伊東会長の任期満了となります。次期会長選挙が速やかに行われる必要があり、早急に選挙規約作成を行ってきました。おかげさまで、総会の承認を得て、9月9日に第一回選挙管理委員会を開催することができました。

毎回講演会の前に矯正症例相談会を実施し、希望者がいない場合は役員会の症例発表などを行っております。日常の診療では自分以外の先生の治療方針を聞いてみたいことや少し治療経過で困っていることなどがあると思います。会員の皆様にはぜひお気軽に症例をお寄せいただければ助かります。

研究会がより充実・発展するためにも、更なる会員の勧誘が必要と考えられますので、皆様のご協力をお願いいたします。

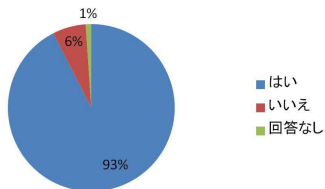
### ○ 平成 25 年度 総会

平成 25 年 5 月 11 日、アークホテル熊本にて平成 25 年度総会を開催し、議長（若江秀敏先生）、議事録署名人（伊東泰蔵先生、井原功一郎先生）、25 名の会員の先生方（委任状 32 名）にご参加いただきました。

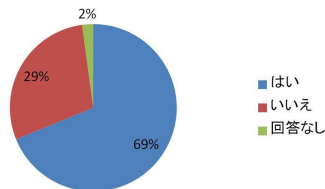
#### 1) 報告事項

- ・ 現在の会員数は 95 名です。
- ・ 総会前に矯正症例相談会を実施しました。希望者がいなかったため、木村浩幸副会長による症例報告を行いました。※次回は 11 月 16 日に予定しております。希望される方は気軽に執行部までご連絡ください。
- ・ 11 月 16 日に秋の講演会、忘年会、臨時総会を開催いたします。講演会は東京医科歯科大学咬合機能矯正学分野小野卓史教授をお招きしております。
- ・ 矯正的歯の検診について、今年の 4 月より玉東町の町長、教育長および教育員の方々と打ち合わせを行い、山北小学校に歯科検診の視察を行いました。来年の 4 月より開始する見込みとなっています。
- ・ 今年も熊本市歯科医師会主催の「2013 歯の祭典」(6月9日 ウェルバルくまもと)に、本会より 11 名の先生方が出務しました。伊東会長が矯正についての講演を行い、矯正相談コーナーでは 93 名の方の相談を受けました。熊本市内から来られている小学生～10 歳代の子供の相談が大半でした。また、どこに相談に行けば良いのか分からないとの内容が多かったようです。アンケート結果は以下のとおりです。今後も継続して研究会から参加予定です。

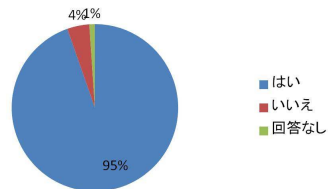
問1 あなたは歯並びについて気になったことがありますか？(93名)



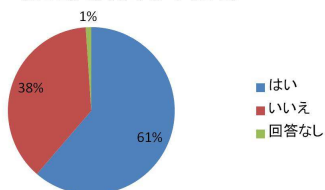
問2 他人の歯並びが気になったことがありますか？(93名)



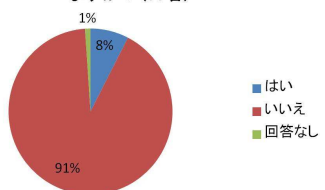
問3 歯並びは顔の中でも目立つ部分だと思いますか？(93名)



問4 歯並びについて歯科医師に相談したことがありますか？(93名)



問5 実際に矯正治療を受けたことがありますか？(93名)



(2013 歯の祭典アンケート結果)

2) 審議事項

- 熊本矯正歯科研究会会則改正について、「会長及び監事選出規定」を追記し承認されました。
- 次期会長選挙のための選挙管理委員の選出を行いました。若江秀敏先生、下山文江先生、中嶋隆志先生の3名に決定しました。
- 会計報告：平成24年度決算報告は徳永監事と澤木監事より監査を受け、承認されている。平成25年度予算案は承認されました。

平成24年度熊本矯正歯科研究会決算報告

自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日		収入の部		支出の部	
年会費(6,000×73名)	438,000	通信費	27,090		
5月総会懇親会費(会員) (7,000×25名)	175,000	事務局経費(印刷代等)	106,714		
5月総会懇親会費(スタッフ) (3,000×11名)	33,000	会議経費	27,560		
11月例会懇親会費(会員) (7,000×23名)	161,000	ホームページ維持管理費	37,296		
11月例会懇親会費(スタッフ) (3,000×12名)	36,000	5月総会 室料・宴会費・その他(アークホテル)	186,525		
利息	303	講演会講師謝礼・宿泊費・交通費	126,720		
H23年度繰越金	1,888,487	感謝状	2,380		
小計	2,731,790	受付スタッフ日当(5,000×3名)	15,000		
		11月例会 室料・宴会費・その他(アークホテル)	209,425		
		講演会講師謝礼・宿泊費・交通費	180,040		
		感謝状	2,940		
		受付スタッフ日当(5,000×2名)	10,000		
		小計	931,690		
H24年度繰越金	1,800,100				
		(内訳:通帳¥1,758,467、現金¥41,633)			

監査の結果、相違ないものと認めます。 平成25年 3月3日

監事 徳永 俊英 (印)

監事 澤木 昌夫 (印)

平成25年度熊本矯正歯科研究会予算案

収入の部		支出の部	
年会費(6,000×93名)	558,000	通信費	50,000
H24年度年会費(未納分) (6,000×20名)	120,000	事務局経費(印刷代等)	150,000
5月総会懇親会費 (7,000×50名)	350,000	会議経費	30,000
11月例会懇親会費 (7,000×50名)	350,000	ホームページ維持管理費	24,000
新入会の年会費 (6,000×7名)	42,000	5月総会 室料・宴会費・その他	350,000
入会金 (4,000×7名)	28,000	講演会講師謝礼	100,000
H24年度繰越金	1,800,100	11月例会 室料・宴会費・その他	350,000
小計	3,248,100	講演会講師謝礼・宿泊費・交通費	150,000
		感謝状(3,000×2名)	6,000
		受付スタッフ日当(5,000×6名)	30,000
		予備費	2,008,100
		小計	3,248,100

(単位:円)

○ 平成25年度 春の講演会・懇親会

総会に引き続き、講演会と懇親会が行われました。講演会は外科的矯正治療の意義や目的について熊本大学教授の篠原正徳先生に講演していただきました。懇親会は会員の先生のみでなく、来賓として熊本県歯科医師会から渡辺賢治先生や熊本市歯科医師会から渡辺猛士先生、歯科関連業者の方、スタッフの皆様方など多くの方にご参加いただきとても盛り上がりました。ありがとうございました。

特別講演 当科における顎変形症患者の外科的矯正手術について 熊本大学医学部歯科口腔外科教授 篠原正徳先生



(抄録) 当科で行ってきた顎変形症について症例を提示して解説する。主に行ってきた術式は下顎に対しては下顎枝の矢状分割術、上顎に対してはLe Fort I型骨切り術である。また、上顎の前歯部の手術として上顎前方歯槽部骨切り術(Wassmund-Wunderer法)を行ってきた。さらに、必要に応じて、下顎骨に対してはオトガイ形成術を行っている。



当科での下顎枝の矢状分割術の特徴は下顎枝のリポジショニングを行っている点とネジによる分割骨片の強固な固定である。下顎枝のリポジショニングの必要性や骨片の固定方法については多説があり、未だ結論は出ていない。今回は当科の術式による術後の形態ならびに機能評価について述べる。また、Le Fort I型骨切り術の実施にあたっては多くの考え方があり、当科の手術術式について解説し、問題点について紹介する。

さらに、他施設の手術方法についても言及する。上顎前方歯槽部骨切り術はあまり行われない術式ではあるが、うまく活用すれば侵襲の少ない手術で良好な結果が得られる優れた術式である。この術式の有用性や問題点について解説する。

オトガイ形成術は上顎や下顎の骨切り術と併用して行われる手術であり側貌の修正には有用な術式である。当科での本手術方法についても述べる。さらに、特殊な症例に対しての外科的矯正手術について症例を供覧し、その術式について解説する。

骨切り術においては時に手術結果が目的通りにいかない場合や予期せぬ合併症が起こる可能性もある。これら問題症例の解説とその対応について述べる。

篠原教授、お忙しいところ快く講演を引き受けていただきました。普段の診療で見る機会の少ない外科矯正手術について触れ、その治療による変化や様々な手術方法があること、術後までを見据えた術式の選択など非常に感嘆いたしました。貴重な講演をありがとうございました。

## 懇親会スナップ



## 今後の予定とお知らせ

- ・ 平成 25 年 11 月 16 日 (土) にアークホテル熊本で平成 25 年度熊本矯正研究会秋の講演会を行います。忘年会も予定しておりますので、スタッフの方もお問い合わせの上ぜひご参加ください。

秋の講演会：「早期治療の意義を再考する」小野卓史先生（東京医科歯科大学咬合機能矯正学分野教授）

※臨時総会では次期会長選挙を予定しています。

- ・ 症例検討会に発表をご希望の先生は、事務局までご連絡ください。
- ・ 物故会員のお知らせ：緒方ゆりや先生が平成 25 年 7 月に亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。